

令和5年度 社会福祉法人 静岡和洋福祉会 事業報告書

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響で遅れていた照明のLED化を実施しました。静岡県の「静岡県中小企業等省エネ設備導入促進事業費補助金」を利用し、前年度自費で行ったLED照明を含めて、施設の約95%の照明をLEDに交換しました。

その効果は大きく前年度に比べ、電気代は200万円以上削減できました。

また、特養、グループホームのエレベーターもリニューアルされ、老朽化した設備の入れ替えも順調に進めました。

慢性的な人手不足に関しては有効な対策が取れておらず、今後の課題となっております。

外国人、技能実習生制度の利用も視野に入れ、制度を導入している施設の見学なども積極的に進め、令和6年度に向けた準備を行いました。

令和6年3月31日

社会福祉法人 静岡和洋福祉会
理事長 小泉 雅 則

1. 事業

特別養護老人ホームなごみ（介護老人福祉施設）	定員	50名
ショートステイなごみ（短期入所生活介護） （介護予防短期入所生活介護）	定員	20名
デイサービスセンターなごみ（併設型通所介護） （総合事業通所型）	定員	35名
ホームヘルプサービスなごみ（訪問介護）		
福祉サービスセンターなごみ（居宅介護支援）		
グループホーム浜屋（認知症対応型共同生活介護）	定員	9名

2. 会議

第1回理事会

- 議 第1号 令和4年度決算(案)について
- 第2号 令和4年年度事業報告(案)について
- 第3号 監事監査報告について
- 第4号 令和4年度監査結果報告について
- 第5号 社会福祉充実残額及び充実計画について
- 第6号 新役員の選任について
- 第7号 次回評議委員会の開催について

第1回評議員会

- 議 第1号 令和4年度決算(案)について
- 第2号 令和4年度事業報告(案)について
- 第3号 監事監査報告について
- 第4号 令和4年度監査結果報告について

- 第5号 社会福祉施設充実残額及び充実計画について
- 第6号 新役員の選任について

第2回理事会

- 議 第1号 理事長の選任について

第3回理事会

- 議 第1号 令和5年度補正予算(案)について
- 第2号 令和6年度事業計画(案)について
- 第3号 令和6年度予算(案)について
- 第4号 定款細則(別表)の改定(案)について
- 第5号 令和5年度監査結果報告について
- 第6号 補助金を利用したLED照明の導入について
- 第7号 理事会の職務執行状況について
- 第8号 次回評議員会の開催について

第2回評議員会

- 議 第1号 令和5年度補正予算(案)について
- 第2号 令和6年度事業計画(案)について
- 第3号 令和6年度予算(案)について
- 第4号 定款細則(別表)の改定(案)について
- 第5号 令和5年度監査結果報告について
- 第6号 補助金を利用したLED照明の導入について
- 第7号 理事会の職務執行状況について

3. 特別養護老人ホーム入所者の処遇

「当たり前の生活」に重点をおき、安心且つ快適な生活を送る事ができるように環境に配慮したケアの提供に努めました。入所者一人ひとりの立場に立って関わりを持ち、ケアの実施、チームでのケアに重点を置き提供に努めました。施設内研修・新入社員研修・職員の育成のための継続的な指導にも努めました。

・月別入退所状況

月別	入所者数	退所者数	入 所 前 状 況			退 所 理 由			
			他施設	病 院	自 宅	他施設	病 院	死 亡	自 宅
4	0	1	0	0	0	0	0	1	0
5	1	3	0	0	2	1	0	1	1
6	3	0	0	0	3	0	0	0	0
7	0	1	0	0	0	0	0	1	0
8	1	2	0	0	1	0	0	2	0
9	1	1	0	0	1	0	0	1	0
10	1	1	0	0	1	0	0	1	0
11	2	1	0	0	2	0	0	1	0

12	0	0	1	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	2	0	0	0	0	0	2	0
3	2	1	0	0	2	0	0	1	0
計	11	13	1	0	12	1	0	11	1

(1) 行 事

実施された主な行事

プチ祭り、敬老お祝い、健康診断、季節の造形・催しもの作り、誕生日会、防災訓練、おやつ喫茶、クリスマス会、豆まき、松花堂弁当、忘年会、年越しそば、ちらし寿司作り、御神酒、寄せ鍋作り、新春ビンゴ大会、テイクアウトレク、出前レク、お花見、母の日、フラワーアレンジメント、青空ランチイタリアン、映画鑑賞会（なごみ内シアター）

(2) 食 事

当たり前の生活を提供するという理念の下、食事は陶器の食器を使用し、ご飯や汁物をユニットで盛り付けることで、温かいものを召し上がって頂いています。食事形態も咀嚼、嚥下レベルが低下する方においても美味しく安全に食べて頂けるようにソフト食の提供についても力を入れました。

(3) 入 浴

快適に入浴を楽しんでいただけるよう、安全の確保を第一に考えながら、個々の意向を反映するように努め、援助しました。

(4) 排 泄

不快感を最小限にすることを目標に、スキンケア質の向上を目指した実践、プライバシーへの配慮、自立支援を考えたケアの提供を行いました。

(5) 移 動

本人の保有する移動能力を最大限に生かし、安全かつ快適に移動ができるよう、状態に合わせた福祉用具の選定、職員間での介助方法の統一、移動環境の整備を行い、自立支援を促しています。

(6) 健康 管理

バイタル測定や入浴介助等日々の生活の場を通して体調不良の早期発見に努め、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染対策を心掛けました。

スクリーニングとして腹部・心臓の超音波検査を取り入れ胸水貯溜、腹大動脈瘤を早期に発見でき治療に繋げるようにしています。

(7) 実 習

介護福祉士養成学校からの実習を多く受け入れ、専門職としての学びの場であることを十分理解したうえで指導にあたってきました。また、看護学生の老年学実習を受け入れることで互いに今後の医療と福祉の協働について考えながら、高齢者の生活特性を学んでもらいました。

実習委託先・実習名	人数（延べ）
静岡女子高校（福祉科）	17
静岡女子高校（家政科）	0
静岡県立大学短期大学部（社会福祉学部介護福祉専攻）	0
静岡福祉大学（健康福祉学科介護福祉コース）	65
静岡福祉医療専門学校（介護福祉学科・総合福祉学科）	67
職場体験（高校生）	9

(8) ボランティア・体験学習

入所者・利用者と学生の交流を通じ、地域社会との関係作りに努めました。

学生ボランティア

団体名	団体名
静岡福祉医療専門学校(コロナ禍のため無し)	静岡福祉大学(コロナ禍のため無し)

一般ボランティア

団体名・氏名	団体名・氏名
渥美 様	メロマーネ

(9) 防 災

年2回5月と11月に総合防災訓練を実施しました。部分訓練では訓練用の人形を用いて、胸骨圧迫訓練やAEDの研修、災害時を想定して発電機の使用法の研修を行い、職員の防災意識の向上に努めました。

また、安全に避難が出来るように避難方法・避難経路の再検討を行い、改善点を防災訓練に組み込むことで、災害時により安全に素早く対応できるように努めました。

災害時の非常食、備品については定期的に点検し、異常があれば交換、または新しいものを購入するようにして災害に備えています。また、マニュアルの点検、物品整備、新たな課題に取りかかり、展開・維持向上に努めました。アマチュア無線による非常通信の導入、万事のSOS発信の強化にも取りかかりました。

4. 指定居宅サービス

(1) 通所介護サービス (デイサービスセンター)

利用者に関わる時間をもち、一人ひとりとの信頼関係の構築を図るよう努め、その中で一人ひとりのニーズを汲み取り、サービス提供できるよう努めました。コロナ禍でも楽しんで頂けるよう感染対策をして外出レクに出かけたり施設内の中庭で昼食やおやつを召し上がって頂きました。また、苑内では映画の鑑賞会を開き、懐かしい映画を楽しんで頂きました。

歩行訓練所を活用し利用者が在宅での生活が少しでも長く続けられるように、機能訓練を行い、身体状況の維持、向上に努めました。

利用者の状態に合わせた移乗や介護技術の研修を行い、介護職員がより良いサービスを提供できるよう努めました。

(通常型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用登録者数	40	40	39	37	37	37	38	38	39	39	40	41	465
延べ人数	324	346	350	303	332	308	375	379	328	345	389	399	4,178
1日平均人数	12.3	12.8	12.9	12.1	12.2	12.3	15.6	14.5	14.2	14.3	15.5	15.3	13.6

(介護予防通常型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用登録者数	8	9	8	9	7	7	7	7	7	6	6	6	87
延べ人数	55	58	59	41	55	37	44	40	34	36	40	42	541
1日平均人数	2.2	2.1	2.1	1.6	2.0	1.4	1.8	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.7

(2) 短期入所生活介護サービス（ショートステイ）

居宅介護支援事業所の介護支援専門員と細かくご利用者様の状況変化に対する連絡を行い、情報共有に努めました。

また、ご本人様・ご家族様のニーズに適切に応えることができるよう、他部署や他事業所、必要時にはその他の関係機関との迅速且つ的確な情報共有に努めました。

感染症対策を講じた上で講習を適宜実施し、ご利用者の状態や状況に合わせた移乗や介護技術について各職員が意識向上の志を持てるよう努めました。また、ご利用者に対してより安全、安心なサービス提供が出来るよう努めました。

・実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延人数	590	622	511	572	562	546	562	632	623	634	637	716	7,207
延人数 (予防)	3	3	2	3	3	4	6	0	9	4	0	0	37
1日平均人数	19.7	20.1	17.1	18.5	18.2	18.3	18.3	21.0	20.3	20.5	22.7	23.0	19.8

(3) 指定居宅介護支援事業（福祉サービスセンター）

利用者と家族のニーズに対して迅速に対応するとともに利用者の意思を尊重し、自立への働きかけを行い、入院時は病院を訪問し医療機関との連携を図りました。

研修会にも積極的に参加し、多種多様な利用者のニーズに対応できるよう専門知識や技術の向上に努めました。また、地域包括支援センターと連携を図り、協働して問題解決にあたりました。

・給付管理件数（ ）内は新規プラン件数

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護 給付 件数	(3) 39	(0) 39	(1) 37	(1) 37	(0) 37	(0) 36	(0) 36	(2) 38	(0) 37	(1) 35	(2) 35	(1) 36	(11) 442
予防 給付 件数	(1) 9	(0) 10	(0) 10	(0) 10	(0) 9	(1) 10	(0) 10	(0) 9	(0) 9	(1) 11	(0) 11	(0) 11	(3) 119
合計	48	49	47	47	46	46	46	47	46	46	46	47	561

・介護保険申請数

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
更新	0	0	2	0	0	0	1	3	0	3	2	1	12
変更	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
合計	1	2	2	0	0	1	1	4	0	4	2	1	18

(4) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム浜屋）

ご本人の思いに寄り添いながら、浜屋での日々が充実した時間になるよう支援に努めました。
 コロナ等感染症への安全に配慮しながら、ご家族や地域との交流を図りました。

・実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ 合計	240	230	249	248	275	270	251	270	279	279	261	279	3,131

5. 職 員

職 種	介護老人 福祉施設	短期入所生 活介護事業	通所介護事業	訪問介護事業	居宅介護 支援事業	認知症対応 型共同生活 介護	合 計
管 理 者	1	0	0	0	1	1	3
事 務 員	3	0	1	0	0	0	4
相 談 員	1	2	1	0	0	0	4
ケアプラン 作 成 者	1	0	0	0	0	1	2
介護主任	1	0	1	0	0	0	2
介護職員	22(4)	8(3)	7(4)	0	0	6(3)	43
機能訓練 指 導 員	1	0	1	0	0	0	2
看護職員	3(1)	1	1(1)	0	0	0	5
管理栄養士	1	0	0	0	0	0	1
調 理 員	委託	委託	委託	0	0	0	委託
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0
介護支援 専 門 員	0	0	0	0	1	0	1
宿 直	2(2)	0	0	0	0	0	2
嘱 託 医	1(1)	0	0	0	0	0	1
産 業 医	1(1)	0	0	0	0	0	1
合 計	39	11	10	0	2	9	71

※（ ）内は非常勤職員の再掲 ※兼務職員は主な職種へ記載

6. 研 修

研修名	職種
令和5年度社会福祉法人経理応用講座	事務職員
介護職員が考えるべき「転倒予防の視点」	介護職員
介護技術基礎講座「移動・移乗の介助」	介護職員
苦情解決研修会	生活相談員
施設間交流研修	介護職員